

事務事業名 外来生物等駆除事業

出力日：令和04年03月15日

キーコード：1737

施策：	24	快適な生活環境の促進	財務コード	01040106-15-00
基本事業：	03	生活環境に関する害の減少	担当部	環境経済部
基本事業の成果指標	苦情及び相談件数（騒音・振動、悪臭）		担当課	環境課
	苦情及び相談件数（草木の繁茂等）		担当係	



事務事業が貢献すべき成果

計画年度	平成27年度 ~		新規・継続	継続	会計区分	一般会計	実施計画		
1. 対象（誰、何に対して事業を行うのか）			2. 手段（事務事業の内容、やり方、手順）						
外来生物			特定外来生物による被害などについて、広報・SNS等により啓発を行い、生物の多様性の確保、人の生命・身体の保護、農林水産業の健全な発展に寄与する。 外来生物の生息状況を調査し、駆除が必要なものについては、駆除の方法の啓発や駆除を行う。 害獣や害虫の駆除方法について情報の提供を行う。						
3. 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）									
特定外来生物による被害を防止し、生物多様性を確保する。									
4. 成果（簡易評価は未記入）									
成果指標名称		単位	01年度 実績	02年度 実績	03年度 当初	04年度 要求	05年度 計画	06年度 計画	目標
市広報及びSNSによる啓発のための情報発信数		回	5	5	5	5			8
相談件数		件							
5. コスト									
事業費		計	千円	91	214	545	442		
		国	千円			0	0		
		県	千円			0	0		
		地方債	千円			0	0		
		その他	千円		165	462	442		
一般		千円	91	49	83	0			
正職員人工数		人工	0.4	0.4	0.4	0.4			
正職員人件費		千円	3,226	3,212	3,168				
トータルコスト(事業費+正職員人件費)		千円	3,317	3,426	3,713	442			
6. 成果状況及びコメント（簡易評価は未記入）									
あがっている		特定外来生物や生態系について、広報、ホームページ及びSNSを通じ周知を図った。 害獣の生息状況を調査した。							
どちらかといえばあがっている									
あがっていない（停滞・低下）									
7. 評価及びコメント（簡易評価は未記入）									
対象動向	維持	類似事業	なし						
手段効率化余地	なし	コスト削減余地	なし						
公的関与	妥当性がある	受益者負担	余地なし						
上位貢献度	影響度は中	業務推進課題	なし						
成果向上余地	中程度								
8. 改善改革案（簡易評価は必要な場合のみ記入）			改善方向性	維持	見直し	廃止	事業終了		
改革案/期待する成果/必要性/推進スケジュール/必要な費用（維持/事業終了の場合は記入する必要なし）									
事業開始背景及び現在の環境変化（市民・議会等の要望）									
外来種による在来種への影響が懸念される。									
備考・特記事項 or 進行管理欄									